

令和8年度 大田区立東蒲中学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

令和8年9月1日

学校規模 (1)生徒数 336名(第1学年130名、第2学年105名、第3学年105名) (2)学級数10学級(SR教室掲点校) (3)教員数 26名(男性13名、女性13名)	2 教育目標 ・「健」 健全な心と体を育てよう。 ・「根」 根気よく学び続ける力をつけよう。 ・「信」 信頼に基づいた豊かな人間性を育てよう。
--	---

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	評価人数	学校関係者記入欄 コメント
生予個 き測別 る困目 力難難 をな1 育未成 し社 すを 創造 的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや、社会を創造する課題解決力、新たな価値を創造する力の育成を図っている。 ②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 ③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。 ④話し合いや教え合い活動など言語活動の充実に取り組んでいる。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4:生徒アンケートの「授業で発表や話し合い活動の場がある」という問い、また、生徒及び保護者アンケートの「教材や教え方を工夫している先生が多い」という問いに対し、肯定的評価の割合が80%以上である。 3:生徒アンケートの「授業で発表や話し合い活動の場がある」という問い、また、生徒及び保護者アンケートの「教材や教え方を工夫している先生が多い」という問いに対し、肯定的評価の割合が70%以上である。 2:生徒アンケートの「授業で発表や話し合い活動の場がある」という問い、また、生徒及び保護者アンケートの「教材や教え方を工夫している先生が多い」という問いに対し、肯定的評価の割合が60%以上である。 1:生徒アンケートの「授業で発表や話し合い活動の場がある」という問い、また、生徒及び保護者アンケートの「教材や教え方を工夫している先生が多い」という問いに対し、肯定的評価の割合が60%未満である。			A		
お世個 界別 た目 をつ 標担 な2 うが る材 国を 際際 育成 成市 しす	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。 ②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。 ③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。 ④学校行事や教育活動を通して、人権教育の推進を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4:生徒アンケートの「学校行事や教育活動を通して、互いを認め合い、相手を尊重することの大切さを理解できた」という問いに対し、肯定的評価の割合が80%以上である。 3:生徒アンケートの「学校行事や教育活動を通して、互いを認め合い、相手を尊重することの大切さを理解できた」という問いに対し、肯定的評価の割合が70%以上である。 2:生徒アンケートの「学校行事や教育活動を通して、互いを認め合い、相手を尊重することの大切さを理解できた」という問いに対し、肯定的評価の割合が60%以上である。 1:生徒アンケートの「学校行事や教育活動を通して、互いを認め合い、相手を尊重することの大切さを理解できた」という問いに対し、肯定的評価の割合が60%未満である。			A		
た一個 人入 の目 基と 礎3 とが な個 の性 力と を能 力成 をし 発揮 する	児童・生徒が豊かな人生を生き抜いていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。 ②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、それぞれの子どもに確かな学力の育成を図っている。 ③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や体育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。 ④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中貫の視点に立った教育を行っている。 ⑤小中一貫性のある授業改善プランの作成や、年2回の生活意識調査を実施し、小中一貫教育を推進する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4:生徒及び保護者アンケートの「学校の雰囲気は明るく、生徒たちも生き生きと活動している」、「東洋中の生活は楽しい」という問いに対し、肯定的評価の割合が80%以上である。 3:生徒及び保護者アンケートの「学校の雰囲気は明るく、生徒たちも生き生きと活動している」、「東洋中の生活は楽しい」という問いに対し、肯定的評価の割合が70%以上である。 2:生徒及び保護者アンケートの「学校の雰囲気は明るく、生徒たちも生き生きと活動している」、「東洋中の生活は楽しい」という問いに対し、肯定的評価の割合が60%以上である。 1:生徒及び保護者アンケートの「学校の雰囲気は明るく、生徒たちも生き生きと活動している」、「東洋中の生活は楽しい」という問いに対し、肯定的評価の割合が60%未満である。			A		
学個 校別 力目 ・標 教4 師力 を向 上さ せま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。 ②教職員がそれぞれの専門性を生かし、地域の特徴を生かした授業活動を行っている。 ③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。 ④生徒が他者の意見を聞いたり、自分の意見を発表したりする活動を設定し、聴く力・判断力・表現力を育成する授業を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4:生徒及び保護者アンケートの「授業は分かりやすく、ていねいである」、「先生は、勉強についての質問や疑問にいていねいに対応してくれる」という問いに対し、肯定的評価の割合が80%以上である。 3:生徒及び保護者アンケートの「授業は分かりやすく、ていねいである」、「先生は、勉強についての質問や疑問にいていねいに対応してくれる」という問いに対し、肯定的評価の割合が70%以上である。 2:生徒及び保護者アンケートの「授業は分かりやすく、ていねいである」、「先生は、勉強についての質問や疑問にいていねいに対応してくれる」という問いに対し、肯定的評価の割合が60%以上である。 1:生徒及び保護者アンケートの「授業は分かりやすく、ていねいである」、「先生は、勉強についての質問や疑問にいていねいに対応してくれる」という問いに対し、肯定的評価の割合が60%未満である。			A		
た自個 め分 の目 学・学 くく 5を い支 き援 いし まとな さな	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整える。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。 ②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見・早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4:生徒及び保護者アンケートの「学校はいじめや非行、暴力行為のない学校づくりに取り組んでいる」、「先生は、相談事や悩み事について親切に応じてくれる」という問いに対し、肯定的評価の割合が90%以上である。 3:生徒及び保護者アンケートの「学校はいじめや非行、暴力行為のない学校づくりに取り組んでいる」、「先生は、相談事や悩み事について親切に応じてくれる」という問いに対し、肯定的評価の割合が80%以上である。			A		

ふ き る	えるとともに、相談機能の充実を図ること、すべての児童・生徒が自分らしい生きと生きるための学びを支援します。		1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	割合が70%以上である。				
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。					
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				C	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。					
		④WEBQを活用し、個人面談を通して生徒の実態把握に努める。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				D	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。					
安 全 心 教 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 境 な を 学 び ま す 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4:生徒アンケートの「ICTを活用した授業が多い」、生徒及び保護者アンケートの「学校の施設・設備は十分整っている」という問いに対し、肯定的評価の割合が80%以上である。			A	
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。				B	
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。					
		③セーフティ教室やネットリテラシー教育を行い、生徒の防犯に対する意識を高める。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				C	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。					
		④ICTを活用した授業を実施している。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				D	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
学 地 学 部 校 域 校 別 を こ 、 目 ミ 家 機 く コ 座 ワ リ ニ ・ ま ち 地 す イ 域 の 核 連 と 携 し て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくりを目指す」と地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4:保護者アンケートの「学校の様子を詳しく保護者に伝えている」、「学校は地域力をこどもたちの教育活動に活かしている」という問いに対し、肯定的評価の割合が80%以上である。			A	
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。				B	
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。					
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				C	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。					
		④保護者の相談等に丁寧に対応し、保護者からの理解と信頼を得ている。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				D	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。